

日本メタル経済研究所、企業研究「BHP Billiton」- 世界最大の総合資源企業の誕生」  
を鉄鋼新聞社から発刊

2005年12月  
(社)日本メタル経済研究所

このほど(社)日本メタル経済研究所(会長 佐藤教郎 日立電線株式会社代表取締役社長、副会長 岡田昌徳 日鉱金属株式会社代表取締役社長、理事長 石川丘)では、株式会社鉄鋼新聞社(1947年創業 代表取締役社長 一柳正紀)から、「企業研究「BHP Billiton」- 世界最大の総合資源企業の誕生」(著者 主任研究員 小林浩)を発刊いたしました。

昨今、原油をはじめとして、銅を含む鉱物資源価格が高騰しており、急速な中国経済の発展拡大が著しい需要の増大を招いたことやファンドマネー等の流入が、その要因と言われております。また、近年から最近に至る非鉄メジャーによる活発なM&A等による寡占化の進展も、その背景にあるとする見方があります。

公益法人の当研究所では、従来から、世界の非鉄メジャーの動向調査を、自主調査及び受託調査として実施して、非鉄金属産業関係者に提供して参りましたが、このほど、取りまとめました自主調査テーマレポート「企業研究「BHP Billiton」- 世界最大の総合資源企業の誕生」は、その内容が非鉄金属に限らず、鉄鉱石・石炭・アルミニウム等幅広い鉱物資源を扱うメジャーであります同社の、2001年のBHP社とBilliton社の対等合併による誕生劇とその後を、ここに至る一連の歴史、その背景と経営陣の決断を活写しており、この報告書を通例のように、関係機関に提供するに止めず、鉄鋼新聞社の協力を得て、広く非鉄金属業界、鉄鋼業界、石炭業界、商社等幅広い潜在読者に提供すべく同社から、出版することといたしました。

非鉄金属産業関係者や、日頃から非鉄金属に関心を持っておられる方々だけでなく、他産業の方々や大学での利用等を含め、広く一般の方々に、世界的企業の経営戦略と決断の一端をお伝えするものであり、経営戦略等の面で、お役に立てるものと考えております。

本書の内容は、巨大非鉄メジャーの誕生(BHPとBillitonの合併) BHP及びBillitonの歴史 BHP Billitonの現状 非鉄メジャー大手3社の4章と、主要鉱物資源の大手企業の生産量とシェア等の資料からなり、総ページ数は168ページです。本書の購入価格は、2,500円で、購入申し込み先は、下記右下の鉄鋼新聞社業務局まで。同社ホームページに本書の概要紹介があります。

日本メタル経済研究所 問い合わせ先：  
TEL: 3506-0700 FAX: 3506-0701  
主任研究員 小林浩 [hirokoba@merij.or.jp](mailto:hirokoba@merij.or.jp)  
総務 池田博子 [ikeda@merij.or.jp](mailto:ikeda@merij.or.jp)  
事務局長 横山勝雄 [yokoyama@merij.or.jp](mailto:yokoyama@merij.or.jp)

鉄鋼新聞社問い合わせ先：  
TEL: 5259-5203 FAX: 5259-5209  
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町  
1-101 神保町101ビル 業務局  
<http://www.japanmetaldaily.com/>

**MERI/J**

社団法人 日本メタル経済研究所

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 2-6-4  
TEL 03-3506-0700 03-3506-0701  
<http://www.merij.org/index.php>

## 参考：「企業研究 “BHP Billiton ” - 世界最大の総合資源企業の誕生」の概要

### 目次

#### 第1章 巨大非鉄メジャーの誕生 (BHP とBilliton の合併)

- (1) 大合併の発表と波紋 (2) 合併の成立 (3) 最近の世界の資源・非鉄産業業界の M & A

#### 第2章 BHP 及び Billiton の歴史

- (1) Broken Hill Pty (2) Billiton

#### 第3章 BHP Billiton の現状

- (1) 新会社の発足 (2) 中核の鉄鋼事業からの撤退 (3) チリ・ペルーにおける銅生産拡大と他地域からの撤退 (4) CEO Gilbertson の突然の辞任 (5) 絶好調の鉄鉱石・石炭事業 (6) アルミ・ニッケル事業 (7) 銀・鉛・亜鉛事業 (8) ダイヤモンド (9) WMC Resources の買収 (10) BHP Billiton とアジア・マーケット (11) 史上最高の売上げ高・利益計上

#### 第4章 非鉄メジャー大手3社

- (1) 非鉄メジャー大手3社の概要 (2) 株式時価総額から見た非鉄メジャー大手3社 (3) 非鉄メジャー大手3社の生産シェア

#### 資料

BHP Billiton の略史年表      BHP Billiton の世界における事業所一覧  
主要鉱物資源の大手企業の生産量とシェア

### BHP の略歴と戦略概観 (本書の一端から紹介)

国際的に競争力が無いと判断した鉄鋼部門は伝統的コア部門にも拘らず容赦なく放出した。

M&A により石油、石炭、鉄鉱石、ベースメタルの総合資源メジャーとなり、経営安定性を確保した。大型・優良銅山 (Escondida 効果大) を有する米系鉱山会社を買収し世界第二の銅生産者となった。他方、競争力・収益力がないと判断した銅山 (Highland Valley、Robinson、Ok Tedi) は放出。

Magma Copper 買収後、銅価低迷期を迎え赤字状態に陥ったが Billiton との合併という積極策を講じた。

Billiton との合併、積極的な増産投資、鉄鉱石、石炭、銅等の空前の 価格上昇により成功し、収穫期を迎えている。

## BHP とBilliton 合併の立て役者の信念



Paul Anderson, CEO and Managing Director (right), with Brian Gilbertson, Deputy CEO.

“将来世界の資源産業界は3～4社の大手メジャーに統合され、あとは弱小のベンチャー的企業が残る形となり、その中間は空白状態となろう”

Mr. Paul Anderson (合併当時の BHP CEO で、BHP Billiton 初代 CEO)

同氏は、元 + 現 米国 Duke Energy 社の CEO。下記サイトは、同社での同氏の紹介サイト

<http://www.duke-energy.com/company/aboutus/leaders/executive/pmanderson.asp>

“非鉄金属産業の将来は3～4社の大手メジャーの手中にあり、Billiton がそのメジャーの一つとなるためには、成長のスピードを上げなければならない、何故ならばそのスピードは一企業のレベルで決めるのではなく、グローバルな市場によって決定されるからだ”

Mr. Brian Gilbertson (合併当時の Billiton CEO で、BHP Billiton 第2代 CEO)

## 著者 :小林浩略歴

1962年東京外国語大学英米科卒業、同年(株)日立製作所海外事業部入社、その後(株)日立電線海外事業部へ転属し、同社初代ロンドン事務所長、輸出部長を歴任。現在(社)日本メタル経済研究所主任研究員として勤務、世界の電線産業及び世界の非鉄メジャー企業の調査・研究などにあたる。